

# 第1回根浜海岸砂浜再生懇談会 議事録

日 時：平成29年6月27日（火）

15時00分～16時30分

会 場：鵜住居地区生活応援センター多目的室

## 1. 開会

(午後 3時00分)

**【阿部河川港湾課長（岩手県沿岸広域振興局土木部（以下、県沿岸土木部））】**

白澤委員は15分ほどおくれるということの話がございました。それでは、早速始めさせていただきます。

開会に先立ちまして、本日の資料をまず確認させていただきたいと思っております。本日の資料につきましては、次第とその裏に座席表、出席名簿、資料1と2、そして委員の皆様限りの資料といたしまして参考資料1と2と3を用意してございます。こちらの参考資料につきましては、非公表の資料とさせていただきます。参考資料1につきましては、さきに実施されました根浜海岸復興養浜技術検討委員会で頂戴いたしました意見の概要を事務局がまとめた資料でございます。参考資料2につきましては、懇談会委員の皆様から事前に意見を事務局で抜粋し、まとめさせていただいた資料でございます。参考資料3につきましては、事前にいただいた意見の一覧表となります。

報道関係の皆様におかれましては、傍聴要領をお渡ししておりますが、6、議事の部分につきましてはカメラ等の撮影はご遠慮いただきますようお願いいたします。資料は、皆様のほうにはございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、始めさせていただきます。本日司会を務めさせていただきます県沿岸土木部河川港湾課の阿部と申します。

ただいまから第1回根浜海岸砂浜再生懇談会を開会いたします。

## 2. 主催者挨拶

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

初めに、主催者であります県沿岸土木部部長の柚よりご挨拶申し上げます。

**【柚部長（県沿岸土木部）】**

県沿岸土木部長の袖でございます。根浜海岸砂浜再生懇談会の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様には、お忙しい中懇談会にご出席いただきましてまことにありがとうございます。また、日ごろから岩手県の復興事業の推進にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、本日皆様からお話を伺います根浜海岸は、かつては白い砂と青い松林のコントラストが美しい日本の白砂青松百選にも選ばれた陸中海岸を代表する海水浴場でありましたが、東日本大震災津波により、その砂浜の多くが流失いたしました。

今回岩手県では、地域の皆様からの根浜海岸復活の強い要望を受け、養浜事業実施に向け、まずは根浜海岸の砂浜再生が技術的に可能かどうかを検討することといたしました。そこで、先月の29日には第1回目の根浜海岸復興養浜技術検討委員会を開催し、本日もご出席いただいております東北大学の田中先生を初めとした学識経験者など各委員の皆様から技術的、専門的な知見からご指導をいただいているところでございます。

本日の懇談会では、根浜海岸と深いつながりのある、地域の代表者であります委員の皆様から、砂浜の再生してほしい場所や範囲でありますとか、再生の手法や留意してほしいことなどさまざまなご意見、ご要望をいただきまして、地域のニーズを把握した上で、引き続き根浜海岸の砂浜再生の可能性調査検討を進めてまいりたいと考えております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

ありがとうございました。

### **3. 設立趣意・規約について**

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

続きまして、次第3、設立趣意・規約について、事務局より説明をお願いいたします。

### 【平野河川港湾課河川砂防チーム総括主査（県沿岸土木部）】

振興局土木部の平野と申します。私からは、資料1の1ページ目の設立趣意書（案）というものの、2ページ目以降は砂浜再生懇談会規約（案）というものの、この2つについてご説明をいたします。

まず、設立趣意書（案）については、背景については、先ほど当部部长よりお話しあったとおりでございます。最後の段落、「以上」からの部分になりますが、観光資源、海岸の保護及び海岸環境の保全に大きな役割を果たしていた砂浜の復元について、別途設置する根浜海岸復興養浜術検討委員会で砂浜の人工再生の技術的可能性を検討することとしており、砂浜と深いかかわりを持ってきた地域の方々に検討の状況をお伝えするとともに、地域のご意見やご要望を委員会での検討に生かすため、本懇談会を設置するもの、という趣旨になってございます。

続きまして、規約になります。規約については事前に委員の皆様には事前にご説明差し上げているところでございます。一番大事なところは目的の部分になります。この検討委員会に地元意見を反映させ、委員会の検討結果を情報共有することを目的とするという、第2条の目的。この最後の部分は、事前にご説明した案から、加えさせていただいたものになってございます。委員会の結果について、皆様に確実にお知らせするという部分を加えさせていただいたところでございます。

あとは第5条の部分で、懇談会に座長を置くということになっておりまして、座長が会議の議長となるということで、この後座長を選任していただきます。今日は、その方に議長をお願いするという形になってございます。

その他の部分については、書いてあるとおりということになります。

以上になります。

### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

以上のような設立趣意、規約になりますけれども、委員の皆様の方からご意見等はございますでしょうか。

～「なし」の声～

### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

それでは、ないようですので現在をもって規約施行とさせていただきます。

#### 4. 委員等紹介

##### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

続きまして、委員等の紹介に移らせていただきたいと思います。

まず、東北大学大学院工学研究科教授の田中仁委員でございます。

##### 【田中仁委員】

田中です。よろしくお願いいたします。

##### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

続きまして、岩手県水産技術センター所長の煙山彰委員でございます。

##### 【煙山彰委員】

煙山です。よろしくお願いいたします。

##### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

続きまして、沿岸広域振興局水産部部長の阿部繁弘委員でございます。

##### 【阿部繁弘委員】

阿部でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

##### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

続きまして、沿岸広域振興局農林部部長の高橋昭雄委員でございます。

##### 【高橋昭雄委員】

高橋でございます。よろしくお願いいたします。

##### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

沿岸広域振興局土木部部長の柚亨委員でございます。

##### 【柚亨委員】

柚でございます。よろしくお願いいたします。

##### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

釜石市産業振興部部長の似内敏行委員の代理といたしましてご出席の佐々木道弘委員でございます。

##### 【佐々木道弘委員代理（似内敏行委員）】

佐々木でございます。よろしく申し上げます。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

地域代表といたしまして、9名の委員をご紹介いたします。

まず、根浜振興会の前川昭七委員でございます。

**【前川昭七委員】**

前川です。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

釜石東部漁協管内復興市民会議会長の柏崎龍太郎委員でございます。

**【柏崎龍太郎委員】**

柏崎龍太郎です。よろしくお願いいたします。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

一般社団法人根浜M I N D代表理事の岩崎昭子委員でございます。

**【岩崎昭子委員】**

岩崎です。どうぞよろしく申し上げます。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

釜石東部漁業協同組合組合長の小川原泉委員でございます。

**【小川原泉委員】**

小川原です。よろしく申し上げます。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

釜石トライアスロン協会会長の小林格也委員でございます。

**【小林格也委員】**

よろしく申し上げます。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

A & F グリーンツーリズム実行委員会副会長の伊藤聡委員でございます。

**【伊藤聡委員】**

伊藤です。よろしくお願いいたします。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

釜石観光物産協会会長の澤田政男委員の代理といたしましてご出席の佐々木一伸委員でございます。

**【佐々木一伸委員代理（澤田政男委員）】**

会長の代理で参りました佐々木と申します。よろしくお願ひいたします。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

釜石植物の会会長の鈴木弘文委員でございます。

**【鈴木弘文委員】**

鈴木弘文でございます。よろしくお願ひいたします。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

環境パートナーシップいわての臼澤良一委員でございますが、後ほど出席の予定でございます。

事務局であります岩手県、釜石市の職員の紹介につきましては、時間の都合上、割愛させていただきます。

また、県が発注いたしました砂浜再生の検討業務委託の受注者でございます国際航業株式会社が参加しておりますので、ご紹介いたします。

**【事務局 星上（国際航業株式会社）】**

国際航業です。よろしくどうぞ。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

国際航業様におかれましては、本日の議事の説明等の一部をお願いしてございます。

なお、会議の進め方についてでございますが、本会議は全て公開で進めさせていただきたいと考えてございます。よろしくお願ひいたします。

一般傍聴の方におかれましては、傍聴要領に沿いまして会議の秩序の維持に努めていただきますようよろしくお願ひいたします。

## **5. 座長選任**

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

続きまして、座長の選任に入ります。資料1の規約第5条の規定によりまして、本懇談会に座長を置くこととしております。座長は、事務局が指名することとなっております。

事前の打ち合わせにおかれまして、ご了解をいただいておりますが、座長を東北大学大学院工学研究科教授の田中仁委員にお願いしてよろしいものでしょうか。

～「異議なし」の声～

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

ありがとうございます。それでは、座長を田中委員にお願いしたいと思います。恐れ入りますが、一言ご挨拶をお願いいたします。

**【田中仁座長】**

ただいまこの会の座長を仰せつかりました東北大学の田中でございます。

私自身、先ほども事務局からご説明ございましたように、養浜の技術検討の委員会のほうの担当もさせていただいております。我々は、技術的に砂浜再生が可能や否やということを検討しているわけですが、やはり地元ではそれぞれのお立場からいろんなニーズがあるかと思えます。また、それを我々の調査のほうにも反映させて、2つの委員会がお互いに情報を共有しつつ進めていくということが大変重要なのだろうというふうに考えております。

そういった意味で、きょう皆様から忌憚のないご意見をいただけることを私は大変楽しみにしております。よろしくをお願いいたします。

**【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】**

大変ありがとうございました。

それでは、議事に入りますが、懇談会の議長につきましては、規約第5条3の規定によりまして、会務を総務する座長が行うこととしております。それでは、座長どうぞよろしくお願いいたします。

## **6. 議事**

### **（1）根浜海岸の現状について**

**【田中仁座長】**

それでは、お手元の議事次第に従いまして進めさせていただきます。



まず、(1)、根浜海岸の現状についてということで、事務局からご説明をお願いします。

説明後、委員から以下のような質問が出されました。

問) 根浜海岸に砂浜は戻りつつあると言えるのか。

事務局回答)

砂浜が無くなったのは、震災直後に約60cm地盤沈下したこと、津波の引き波で流出したことが要因と推定される。砂が戻っているのは、現在までに20cm弱地盤が隆起したこと、隆起の過程で海底の砂が打ち上げられて一部が戻ってきたものと考えている。

沈下が戻りきっていないこと、津波で深いところまで砂が流されてしまうと砂は戻りにくいとされているため、今後の砂の戻りについては推移をみる必要がある。

問) 海底が深く掘れた状況は、しばらく続くと考えられるのか。

事務局回答)

自然に戻るには、数百年オーダーの地質学的な時間がかかると思われる。

## (2) 第1回根浜海岸復興養浜技術検討委員会の開催結果について

### 【田中仁座長】

では、特にならなければ、次に(2)といたしまして、第1回根浜海岸復興養浜技術検討委員会の開催結果について、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局からの説明後、委員から以下のような意見が出されました。

・被災前の砂浜に戻してほしいという地元の思いを汲みとり、「砂浜再生の可能性の検討」ではなく、砂浜を戻すために皆で考える、という態度

で検討を進めて欲しい。

- ・ これまで経験したことのない地形変化が起きており、築造中の鵜住居川の河口水門の影響も不明。養浜は難しい課題と認識しており、慎重に検討して欲しい。

- ・ 技術検討委員会での検討結果を随時、地元を提供して欲しい。

- ・ 鵜住居川の河口処理について、対策を決める必要があるのではないか。河川計画をきっちりしないと、養浜した場合の砂の流れ（移動）が変わってくると考えられる。

### （３）砂浜再生にかかる懇談

#### 【田中仁座長】

ありがとうございました。

それでは、時間もかなり押してきて、残りの時間を懇談の場にさせていただければと思うのですけれども、議事の（３）、砂浜再生にかかる懇談ということで、まず事務局のほうからご説明をお願いしたいと思います。

#### 【佐藤河川港湾課河川砂防チーム主任（県沿岸土木部）】

事務局からご説明します。議事の（３）の前に、配付資料の説明をさせていただきます。お手元の参考資料２、A３横のカラーの資料です。本日の懇談会の前に、皆様に個別にお伺いし。根浜海岸の従前の状況や、砂浜の再生に当たってのご意見、ご要望というのを伺いさせていただきました。個別に伺わせていただいた内容を１枚にまとめた参考資料２になってございます。

そして、参考資料３というのは、いただいた意見を一覧表にしたものでございまして、これはA４で14ページの資料になってございます。本日の懇談で、皆様の参考になればということでお付けしたものでございます。

１点だけご説明させていただきたいものがあります。参考資料３、こ

こちらの最終ページ、14ページをごらんください。皆様からヒアリングした中で、根浜海岸ではヨットの利用もあるということで、釜石ヨットクラブの代表の三浦様からのご意見を事前に伺っております。紹介させていただきます。

ヨットの利用の際に、初心者の方がヨットを倒してしまっ、そのまま浜まで流されることがあるようですけれども、その際に捨石の部分にヨットの船体が当たると船体が壊れるおそれがあるということで、夫婦岩付近の捨石も砂浜になれば良い、というご意見。

箱崎フィッシャリーナの斜路部のところ、かつては底に砂があって、そこからヨットの出し入れをしていたと。そこにも砂が入れば良いといったご意見もいただきました。

ヨット利用の面からは、突堤や離岸堤、いわゆる砂の流出防止のための構造物や、波の勢いを弱めるような構造物というのは、できればないほうがありがたい。といったこととお話をいただいております。

以上です。

#### **【田中仁座長】**

ありがとうございました。

それでは、これから懇談に入りたいと思いますが、この懇談の趣旨につきましては、先ほど事務局からご説明ございましたけれども、それぞれのお立場から砂浜に関する要望といたしますか、ニーズといたしますか、そういったことを忌憚のないご意見をいただくということでございます。

私の勝手な考えなのですが、きょう参加者名簿、この順番に一言ずつご意見を賜れば幸いだなと考えております。かなり時間も押していて、いただいたシナリオでは1人3分程度ということなのですが、ぜひそのあたりをお考えいただいて、お一人様ずつご発言をいただければと思っております。

**懇談では、委員から以下のような意見が出されました。**

- ・ 砂浜を早期に再生して欲しい。
  - ・ トライアスロン会場としても根浜海岸はロケーションが素晴らしく、遠方からの出場者も多いため、砂浜の再生を望む。
  - ・ 震災前に年間100万人を超えていた釜石市の観光客が、震災後伸び悩んでいるのは、夏場に海を目指してくる海水浴客の影響が大きいと考えられ、砂浜の再生を是非とも望んでいる。
- 
- ・ 箱崎フィッシャリーナ側から、海水浴ができるくらいの浜幅で養浜するのが良いのでは。
  - ・ 箱崎フィッシャリーナから、夫婦岩（鶴住居川河口付近）の辺りまでの砂浜を再生して欲しい。
  - ・ 震災前の砂浜に戻すことが一番だが、2019年ラグビーワールドカップまでに一部でも海水浴場利用を目指すなど、できる箇所から対策するといった時間軸を意識した対策を望む。
  - ・ ゆくゆくは元どおりの砂浜に戻るのが理想ではあるが、まずは宝来館を基点としたエリアで養浜を行って欲しい。
  - ・ 海水浴をする砂浜とは別に、環境教育ができる砂浜がこじんまりとでも再生できると良い。
- 
- ・ 養浜は、まずは試験的に小規模に投入して、影響を確認してはどうか。
  - ・ いきなり大規模に進めるのではなく、どの位置に養浜するのが効果的か検討すべき。
  - ・ 砂の流出防止や、波の勢いを弱めるための構造物の設置を検討してはどうか。
- 
- ・ 片岸海岸にたまった砂を根浜海岸に入れてはどうか。
  - ・ 片岸海岸へ堆積した砂は、根浜海岸と同じ湾内の同質の砂なので、養浜材料として使えるのではないか。
- 
- ・ 震災後、海から遠ざかっている子供たちが再び海に親しめるよう、早

期に砂浜を再生して欲しい。

- ・砂浜が自然に戻っていく過程を、次世代（子供たち）と観察しつづける場所が、一部でもあればうれしい。

- ・自然現象（津波）でなくなった砂浜を元に戻すのは不可能ではないか。

- ・本来は、手をかけず自然のあるがままの姿にしておくのが望ましい。

- ・砂浜の再生に着手する場合は、生き物に配慮して進めて欲しい。

- ・養浜する砂を他から調達する場合、砂を経由してくる外来の生き物が懸念されるため、調達先の吟味が必要である。

- ・砂浜の再生にあたって、河口の処理が難しいと思われる。

- ・非常に困難ではあるが、漁業・観光・環境など全ての関係者が皆で考え、多様な人が必要とする大槌湾を目指し検討を行って欲しい。

#### 【田中仁座長】

どうもありがとうございました。

それでは一通り皆さん方からご意見をいただきましたので、事務局のほうで、取りまとめていただきます。

事務局は、懇談で出された意見を中心に、事前にいただいた意見を加え、以下のようにまとめました。

#### 1. 復元する砂浜の幅について

- ・海水浴ができるような砂浜の幅が必要。
- ・被災前の砂浜幅よりも広い砂幅となれば望ましい。

#### 2. 再生範囲について

- ・従前から海水浴利用が多かった、箱崎フィッシャリーナ側を優先して砂浜を再生して欲しい。

- ・海水浴利用では、箱崎フィッシャリーナから宝来館までは砂浜が欲し

い。

- ・環境教育としての利用も考慮すると、北側の夫婦岩付近まで砂浜が欲しい。

### 3. 養浜材料について

- ・片岸海岸にたまった砂を利用してはどうか。

### 4. 環境面

- ・工事の際には生物に配慮して欲しい。

### 5. その他

- ・ぜひとも砂浜を再生させるよう、検討を進めて欲しい。
- ・鶴住居川、片岸沢川の河口閉塞について検討が必要ではないか。
- ・自然現象（津波）でなくなった砂浜を元に戻すのは難しく、自然の法則に従うべきではないか。

#### 【田中仁座長】

ありがとうございました。今回いただいた意見を要約させていただいて、技術検討委員会のほうに戻すと。可能性の検討ということではなくて、さまざまなシナリオを考えつつ、技術的な検討をさせていただいて、また委員会からも懇談会にいろいろとフィードバックするような形で議論を進めれば、実施に向けて様々なことが考えられるのかなと感じております。

それでは、以上をもちまして、本日の審議は終わらせていただきたいと思います。

進行を事務局のほうにお返しいたします。

#### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

座長を初め委員の皆様、長時間にわたり熱心なご議論大変ありがとうございました。

## 7. その他

### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

最後に、その他といたしまして、事務局のほうから次回の会議の見通しなどについてご説明いたします。

### 【平野河川港湾課河川砂防チーム総括主査（県沿岸土木部）】

先ほど説明にもありましたが、次回の懇談会については2月ごろというスケジュールになっています。いずれ検討の進捗と、委員会の状況を見ながら、年末から2月ごろの時期に開催したいと思っています。その際は、日程調整ということで事務局のほうから皆様にご連絡させていただきますので、その際はよろしく願いいたします。

以上です。

### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

それでは、閉会の前に地元釜石市さんから本日の懇談会につきましてご挨拶をお願いしたいと思います。

### 【佐々木水産課長（釜石市産業振興部）】

長時間にわたりお話をたくさんいただきました。大変ありがとうございました。

根浜海岸の砂浜再生ということにつきましては、我々釜石市としても検討を行っておりまして、事業の実現ということに向けて復興庁さん、それから岩手県さん等々と協議を重ねてきたといった経過がございます。

その結果、今年度一年は岩手県さんによる砂浜再生の可能性検討事業が進められることになりまして、本懇談会もその事業の中に位置づけられた会議ということです。

我々釜石市におきまして、この根浜海岸の再生につきましては、ラグビーワールドカップ釜石大会の開催と、それからあとは鵜住居駅前の観光交流拠点施設等々の建設といったこととあわせて、市民の皆様から望まれているところというふうに理解しております。

また、ラグビーワールドカップの開催にあたり、国内外から多くの方々が訪れるといったことが予想されますので、このスタジアムに隣接す

る風光明媚な根浜海岸、これを初め東日本大震災から復興した釜石が世界に発信されれば、再度釜石を訪れるきっかけづくりにもなるのではないかという期待もしているところです。

そういった状況から、根浜海岸の砂浜再生につきましては、今後検討を重ねていただいて、再生が可能だというように判断された際にはその規模、範囲、時期、今お話があったような、どのように再生するかといったことを、皆さんからの貴重なご意見を十分反映させた形で、よりよい形で根浜海岸が再生されればと思っております。そして今後の技術検討委員会、国、県、市、それから地元の皆様といったところで協議を重ね、早期に砂浜が再生されるよう期待しております。

我々釜石市も皆様と協力して、砂浜再生に力を尽くしてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

本日はどうもありがとうございました。

## 8. 閉会

### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】

それでは、最後になります、閉会の挨拶を沿岸広域振興局土木部の岩澤副部長よりお願いいたします。

### 【岩澤副部長（県沿岸土木部）】

閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、長時間にわたりまして熱心なご議論いただきまして、ありがとうございました。

事務局といたしましては、今回の懇談会で皆様からいただきましたご意見を検討委員会のほうに報告しまして、砂浜の再生が可能か、技術的な検討を進めてまいります。

委員の皆様には、今後ともより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、閉会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

### 【阿部河川港湾課長（県沿岸土木部）】



以上で本日の懇談会を閉会いたします。最後まで大変ありがとうございました。

(午後 4時35分)